

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人 信州いいやま観光局	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	長野県中野市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村、新潟県妙高市（以下「信越自然郷エリア」という。）	
所在地	長野県飯山市大字飯山1110-1	
設立時期	平成22年4月1日	
職員数	100人 うち担当部局(飯山駅観光交流センター)16人	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	(氏名) 月岡 壽男 (出身組織名) 飯山市	(一社)信州いいやま観光局理事長として5年。観光振興、物産振興、信越自然郷飯山駅案内所、信越自然郷アクティビティセンターなど施設管理等においてマネジメントを行っている。
各種データの分析・収集の責任者（専門人材）	(氏名) 高野 賢一 「専従」 (出身組織名) (一社)信州いいやま観光局	(一社)信州いいやま観光局飯山駅観光交流センター副所長1年。信越9市町村広域観光連携会議事務局として、事業者とのネットワークを持ち、各種データ分析、収集についてのワークショップを開催するなど、主導的に事業を展開している。
プロモーションの責任者（専門人材）	(氏名) 高野 賢一 「専従」 (出身組織名) (一社)信州いいやま観光局	(一社)信州いいやま観光局飯山駅観光交流センター副所長1年。信越9市町村広域観光連携会議事務局として、事業者とのネットワークを持ち、また、情報誌発行社に在勤した経験があり、広告掲載やPR手法のノウハウを持っている。
旅行商品の造成・販売の責任者（専門人材）	(氏名) 高野 賢一 「専従」 (出身組織名) (一社)信州いいやま観光局	(一社)信州いいやま観光局飯山駅観光交流センター副所長1年。信越9市町村広域観光連携会議事務局として、事業者とのネットワークを持つ。国内のロングトレイルの先進となった信越トレイルの造成に中心的な立場で携わり、また、300プラン以上の着地型旅行商品群「飯山度々」の造成の担当者である。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	長野県観光部（財政支援 事業実施支援） 長野県北信地方事務所（財政支援 区域内市町村間調整） 区域内市町村観光担当部局（財政支援 事業実施支援）	
連携する事業者名及び役割	信越9市町村広域観光連携会議会員（別紙1のとおり） 観光団体（広域旅行商品造成 観光情報提供受発信 イベント開催 プロモーション キャンペーン） 商工団体（郷土食提供発信 特産品PR イベント開催） 農業団体（郷土食提供発信 特産品PR イベント開催） 交通事業者（共通チケット開発 観光列車 2次交通整備 誘客 プロモーション）	

(別添) 様式 1

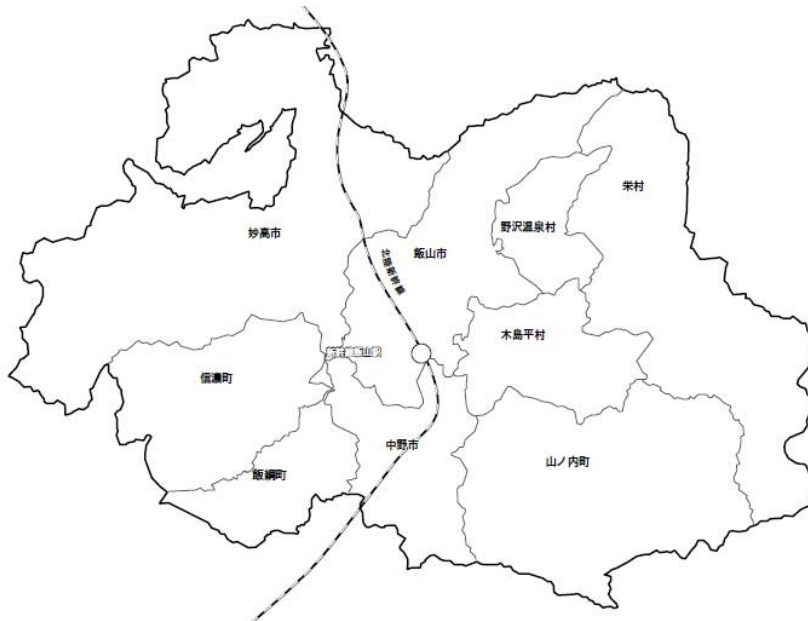
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件) ② ③ (概要) 行政、観光、商工、農業、交通、報道の各関係団体（平成 27 年 12 月末現在 63 団体）が加盟する信越 9 市町村広域観光連携会議を平成 24 年 1 月に設立。広域旅行商品開発、プロモーション、PR イベント等事業実施。会議に役員会、幹事会、事業部会を設置。幹事会、事業部会を 1～2 ヶ月に 1 回開催し、連携会議事業について協議。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>信越自然郷、雪国観光圏、上越地域と連携し、「信越県境地域づくり交流会」という意識啓発のためのシンポジウムを年に 2 回程度開催。信越地域で地域づくりを先導する取組に関する事例発表やトークセッション、参加者同士の交流の場を提供している。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要) ◆誘客宣伝事業 ①北陸新幹線飯山駅開業前及び開業の将来を見据えた飯山市内観光協会及び関係地域と連携した誘客宣伝活動、営業活動 ②学習旅行・インバウンドをはじめ、各種イベントへの誘客を図る営業活動 ◆日本のふるさと体感の旅づくり ①北陸新幹線飯山駅開業に向け、地域資源の掘り起こし、地域資源を活用した個人・小グループの多様な旅行ニーズに応える着地型旅行商品の造成、販売促進、受入体制の充実 ②単位観光協会等、宿泊事業者、直営施設、その他関係団体等と連携した、より質の高い、地域資源に磨きをかけた競争力のある商品造成及び満足度の高い受入、実施体制の整備 ③新幹線飯山駅で乗降する観光客の幅広いニーズに対応する、信越 9 市町村広域観光連携会議、当該構成市町村、交通事業者、関係部署と連携した広域的旅行商品の造成と販売 ◆プロモーション（ブランド構築・販売促進活動）の強化 ①インターネット活用、SNS 活用、マスコミ対応、広告宣伝など効果ある情報発信 ②新幹線飯山駅開業に向けた、関係機関・団体との連携による連携首都圏、北陸圏、関西圏を重点とした発信及びブランド力向上を目指した戦略的なイメージ浸透、広報活動 ◆地域資源を活かした特産品の開発・販売 ①産学官の連携による地域資源を活かした競争力のある特産品の開発、販売促進 ◆外国人旅行者受入環境整備の促進 ①周辺市町村や関係団体と連携した観光資源の磨き上げ、情報発信、地域住民や観光事業者の意識醸成 ②マーケティングに基づいたターゲティングや戦略の検討 ◆ホスピタリティ向上とまちなか観光振興の取組み ①より魅力ある観光地域づくりへ向けたホスピタリティの向上と受入体制の改善への取組み ②市街地のより回遊性ある、滞在時間の延長させるための仕組みづくり及び行政、関係事業者と連携した観光客が歩きたくなるようなまちづくり ◆飯山ブランドを先導する施設運営 ①指定管理施設の適正管理と有効活用による誘客促進、市民交流</p>

(別添) 様式 1

	(定量的な評価)							
		単位	H22	H23	H24	H25	H26	
	旅行商品販売額	千円	—	3,656	4,012	5,196	7,709	
	ホームページビュー ー数	万件	—	30	70	80	100	
	学習旅行受入学校 数	校	8	10	13	13	12	
	飯山応援団菜の花 大使会員数	人	3,572	3,614	3,650	3,793	3,993	
法人のこれまでの活動 実績	(定量的な評価)							
		単位	H22	H23	H24	H25	H26	
	施設 利用 実績	いいやま湯 滝温泉	人	56,899	50,569	60,625	62,632	56,406
		なべくら高 原森の家(宿 泊)	人	4,363	4,507	4,212	4,701	4,323
		なべくら高 原森の家(体 験)	人	7,755	8,060	8,338	9,531	7,820
		なべくら高 原森の家(イ ベント交流)	人	7,457	7,213	8,583	14,029	11,911
		道の駅花の 駅千曲川	人	237,515	239,623	297,210	314,182	327,070
		高橋まゆみ 人形館	人	179,480	167,514	119,096	97,768	82,056
実施体制	(実施体制の概要)							
	<p>(一社)信州いいやま観光局に広域観光部局を設置し、日本版DMOの機能を担う。事業を推進するにあたっては、飯山駅観光交流センター(信越自然郷飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンター)を中心に、区域内各市町村の観光団体、商工団体、農業団体及び行政の実務担当で組織する信越9市町村広域観光連携会議事業部会と連携し、または、一体となっていく。</p> <p>事業を進める上での合意形成については、信越9市町村広域観光連携会議の事業部会、幹事会、役員会、総会の中で協議をし、決定をしていく仕組みとなっている。信州いいやま観光局は、信越9市町村広域観光連携会議事務局業務も担っており、全体の意見の取りまとめ、事業計画や予算の策定にも関わっている。</p>							
	<p>(実施体制図)</p> <p>別紙2のとおり</p>							

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成 24 年 1 月に区域を構成する地方公共団体で信越 9 市町村広域観光連携会議を設立、同年 8 月に行政、観光、商工、農業、交通、報道の各関係団体（平成 27 年 12 月末現在 63 団体）による組織に拡大し、顧客視点に立ち、旅行商品の開発、周遊パスの企画、プロモーション、イベント開催など連携した取組を実施。

また、観光資源、文化、自然風土の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切。

【観光客の実態等】

平成 26 年信越自然郷エリア観光地利用者延数 1,141 万人（対前年比 95.6%）

平成 26 年信越自然郷エリア（妙高市を除く）延べ宿泊者数 568 万人（対前年比 98.1%）

平成 26 年信越自然郷エリア（妙高市を除く）観光消費額 443 億円（対前年比 97.8%）

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

資料 1 のとおり

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

◇域内分布 信越自然郷エリア全域

◇宿泊施設数 1,402 施設

◇収容力（客室数。妙高市を除く。） 13,605 施設

◇施設規模（総定員数） 63,393 人

【利便性：区域までの交通、域内交通】

信越自然郷エリアの中心に北陸新幹線飯山駅が開業し、首都圏、北陸圏、関西圏からのアクセスが格段に向上し、それにより、成田空港、羽田空港、富山空港からのアクセスも向上した。長野駅、上越妙高駅からもしなの鉄道、長野電鉄、えちごトキめき鉄道により、また、栄村エリアへは上越新幹線からアクセスが可能である。

飯山駅からの 2 次交通については、新幹線飯山駅開業により、信越自然郷エリア内観光地への急行便等が新たに運行され、今後も関係市町村、交通事業と連携・調整をとり、拡充を図る。

高速道路網については上信越自動車道がエリア内を走っており、信州中野、豊田飯山、信濃町、妙高高原、新井 PA の 5 I C から区域内への出入りができ、首都圏、中京圏、北陸圏、関西圏からのアクセスも可能である。

(別添) 様式 1

【外国人観光客への対応】

北陸新幹線飯山駅に併設されている信越自然郷飯山駅観光案内所は、日本政府観光局認定外国人観光案内所カテゴリー2に登録、認定され、広域観光の情報発信や宿泊手配、観光案内等のサービスを実施している。

信越自然郷飯山駅観光案内所を含む飯山駅観光交流センター及び飯山駅高架下の信越自然郷アクティビティセンターには無料公衆無線LAN環境を整備し、外国人旅行者の利便性の向上を図っている。

情報発信においては、信越自然郷HPを多言語化し、FBにおいては英語による発信を行っており、**今後は観光パンフレット、マップ等の多元化を図る。**

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	グーグルアナリティクスを活用
旅行・観光消費動向	旅行・観光施策の基礎資料	観光入込客統計等を活用
旅行者の満足度	旅行・観光施策の基礎資料	観光入込客統計の全国共通基準パラメーター調査等を活用
旅行者のリピーター率	旅行・観光施策の基礎資料	観光入込客統計の全国共通基準パラメーター調査等を活用
信越自然郷ウェブサイトの閲覧傾向	閲覧者のニーズ傾向、地域特性の把握	システム内のアンケート機能利用

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ○共通した風土と文化を持つひとつの文化圏 ○2つの国立高原にまたがり、日本一の大河信濃川(千曲川)が縦断 ○日本一のウィンターリゾート(エリア内スキー場数40) ○温泉、高原を兼ね備えた通年リゾート ○日本のふるさと的な原風景 ○四季の彩り ○先進的なロングトレイルへの取組み	弱み (Weaknesses) ○スキー場利用者の減少とスキー産業の衰退 ○中山間地域等における交通アクセスの脆弱さ ○主要交通拠点(新幹線飯山駅)からの2次交通の弱さ ○エリアの認知度、知名度が低い
外部環境	機会 (Opportunity) ○北陸新幹線の延伸開通(市場拡大) ○高齢化、団塊の世代の退職によるシニアマーケット ○ふるさと回帰、健康・癒し志向の高まり ○外国人のスキー需要の拡大	脅威 (Threat) ○観光資源や地域環境を支える地域社会の過疎化、高齢化 ○北陸新幹線の延伸開通(通過、日帰り化) ○観光地間の競争激化

(2) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 アウトドアアクティビティの志向の高い若年から中年層</p>
<p>○選定の理由</p> <p>信越自然郷は、上信越高原国立公園、妙高戸隠連山国立公園にまたがり、中央に日本一の大河千曲川（信濃川）が流れるエリアであり、エリアが持つ自然風土の特徴は、次のとおりである。</p> <p>①山岳高原の景観や地形 西に妙高高原、黒姫高原、東に志賀高原といったアジア有数の大規模な山岳高原の広がりから生まれる特徴的な山岳高原の景観や火山地形と温泉群</p> <p>②恵み豊かな森林地帯 広大な面積を占める森林地帯で育まれる、澄んだ水と空気、多様な生態系、悠久の時を重ねたブナの原生林など、古くから本エリアの暮らしに恵みを与えてきた森林資源</p> <p>③雄大な千曲川と自然豊かな野尻湖などの湖沼群 エリアの中央を南北に貫く日本最大の河川・千曲川の、雄大な姿や、川沿いに広がる景観、川水による灌漑、川や湖を使ってできる様々なマリレジャーなど</p> <p>④雪の生み出す恵み 全国屈指の豪雪によってもたらされる、高い雪質を利用した上質のスノーレジャー、白銀の美しい景観、野山を潤す豊富で清純な雪解け水など</p> <p>上記の信越自然郷エリアの四季折々の姿を魅せる自然風土は、長野県が「しあわせ信州創造プラン」により進める「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」のモデル地域に当エリアが指定されているなど、初心者から上級者まで楽しめるアウトドアアクティビティのステージである。</p> <p>既に、このフィールドにおいて冬期を中心に四季を通じてアウトドアアクティビティを志向する、若年から中年層の来訪者が大部分を占めており、今後も当エリアの中心的利用者像になる事が期待されていることから第1のターゲットとする。</p>
<p>○取組方針</p> <p>信越自然郷エリアのアウトドアアクティビティの案内や情報発信を、新幹線飯山駅高架下に設置した信越自然郷アクティビティセンターにおいてワンストップで行う。アクティビティセンターでは関係事業者と連携した体験プランや旅行商品造成を行う。</p> <p>信越自然郷アクティビティセンターの登録事業者のデータベース化、ネットワーク化を進め、来訪者にストレスのない環境を整える。</p> <p>また、アウトドアメーカーとの連携を図り、アウトドアメーカーの持つノウハウや発信力を活用した戦略的なプロモーションを実施する。</p>

<p>○ターゲット層 外国人観光客</p>
<p>○選定の理由</p> <p>多種多様な温泉、雪質の良いスキー場に加え人気のスノーモンキーなど信越自然郷エリア内の観光資源により、来訪外国人観光客数は、ウィンターシーズンを中心に年々増加しているが、グリーンシーズンにおいてはこのエリアは、国内、県内において他地域の遅れをとっている。</p> <p>よって、ウィンターシーズンはもとより、グリーンシーズンの外国人観光客の増加をめざし、ターゲットとする。</p>
<p>○取組方針</p> <p>信越自然郷エリアのもつ自然風土、文化は、豪雪など厳しい自然との共生の中で生まれたものであり、日本の原風景を感じさせる、古来の里山生活文化であり、歴史的に受け継いできたものである。この地域の魅力や観光資源等情報発信の強化を図る。</p> <p>また、W i f i 環境やホスピタリティの向上など外国人観光客の受入体制の整備も急務であり、施設や事業者において、行政や信越9市町村連携会議と連携し、ソフト・ハードそれぞれの整備を進める。</p>

(別添) 様式 1

<p>○ターゲット層 保養・休養を目的とする家族または夫婦、友人での旅行を志向する層</p>
<p>○選定の理由 信越自然郷をエリアとしたマーケティング調査結果から、「この地域は来訪者意識の中では保養休養型の観光地となっており、こうした傾向をもった観光地は全国的に見ても少なく、特異なポジションとなっている。」されている。 保養休養型を支える魅力は、「温泉」と「自然の中での体験」の2つである。温泉は多くの観光地でも大きな魅力となっており、特に信越自然郷エリアでは高い傾向にある。また、このエリアでは、「自然景観を見る」よりも「体験」の方が高率となっている。 このようなことから、保養休養型を目的とする旅行を志向する層をターゲットとする。</p>
<p>○取組方針 アウトドアアクティビティとともに信越自然郷エリアが提供すべき価値として掲げる、このエリアの自然風土、文化から生まれた「食」、「リラクゼーション（保養・休養）」の価値を来訪者が、ハイキング、トレイル、サイクリング、カヌー等のアクティビティを楽しみながら、目的地間を移動し、移動行動自体を楽しむ旅行スタイル（NAGANOモビリティ）の中で体験できるプログラムづくり、旅行商品化を、それぞれの価値を提供できる事業者と連携しながら進める。</p>

(3) コンセプト

①コンセプト	『千年風土の豊穡の地』
②コンセプトの考え方	このエリアには豊かな水脈と山系に囲まれた肥沃な大地があり、縄文時代の昔から人々は豪雪や厳しい寒暖差をものともせず、自然に寄り添った特徴的な文化を創り上げてきました。「信越自然郷」とは、単純に隣接する市町村が連携したものではなく、共通した風土と文化を持つひとつの文化圏です。この文化圏が、来訪者に提供できる価値の源となり、経済効果を生み出すものであると考えます。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略に応じた関係者との連携したプロモーションの実施	(一社)信州いいやま観光局が中心となり、信越9市町村広域観光連携会議やエリア内の関係機関と連携し、効果的なタイミング、手法等によりプロモーションを実施する。実施にあたっては、信越9市町村広域観光連携会議事業部会を2カ月に1回程度実施し、一体となっていく。
観光客に提供するサービスを向上させるための人材の育成	(一社)信州いいやま観光局が中心に、行政、民間事業者、住民等の各主体でどのような人材が求められるかを検討し、その確保・育成プランを策定。そのうえで、ワークショップによる育成、「信越自然郷マイスター制度」等の事業を展開する。
一元的な情報発信・ワンストップ機能整備	信越自然郷飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンターにおいて、登録事業者及び関係機関と連携し、一元的な観光案内、HP、FB等による情報発信、宿泊、アクティビティ・体験の手配等の実施。

6. K P I (実績・目標)**(1) 必須K P I**

	単位	25年	26年	27年	28年	29年	30年
●旅行消費額	億円	453	443	486	489	470	479
●延べ宿泊者数	万人	579	568	593	577	602	614
●来訪者満足度	%	-	-	-	92.0	93.5	95.0
●リピーター率	%	-	-	-	68.8	70.0	70.0

※各年の数値は1月～12月度の数値を入れている。年度ではない。

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**【検討の経緯】**

・当エリアは、長野県の「世界水準の山岳高原観光地」づくりに向けた3つの重点支援地域に指定されており、県と歩調を合わせながら事業推進をしていることから、長野県の目標におおよそ準拠することとした。

【設定にあたっての考え方】**●旅行消費額**

・平成28年以降は年2%（年間9億円）の旅行消費額アップを目指す。長野県の信州創生戦略（平成27年～平成31年）においては、毎年3%の増加を目標に設定されている。当エリア内においては、現状宿泊数の多少が地域によりバラつきがあることから長野県の目標より僅かに下げた。

●延べ宿泊者数

・平成28年以降は年2%（年間12万人）の宿泊者数アップを目指す。長野県の信州創生戦略（平成27年～平成31年）においては、毎年3%の増加を目標に設定されている。当エリア内においては、現状宿泊数の多少が地域によりバラつきがあることから長野県の目標より僅かに下げた。

●来訪者満足度

・平成28年度に実施した調査では満足度92%であったことから（H28 長野県観光機構調査 日本人18.6% 外国人43.2%）、当面は年1.5%アップを目指す。長野県観光振興計画では、平成30年、平成31年の増加ポイントを1.4となっており参考とした。平成30年の95%が限界値と考えている。

●リピーター率

・平成28年度に実施した調査ではリピーター率が68.8%であったことから（H28 長野県観光機構調査 日本人91.8% 外国人65.9%）、今後はこれを基準として、新規来訪者の獲得に努めながらも70.0%を維持する。

(2) その他の目標

	単位	25年	26年	27年	28年	29年	30年
●飯山駅乗降客数(1日平均乗車数※1×2)	人	1,218	1,176	2,529	2,806	3,159	3,604
●飯山駅観光案	人	9,907	16,271	65,464	66,773	68,108	69,470

(別添) 様式 1

内所（ワンストップ）窓口利用者数							
●旅行商品参加者数	人	—	173	477	572	669	783

※1 各年の数値は1月～12月度の数値を入れている。年度ではない。

※2 北陸新幹線利用者とJR飯山線利用者の合計数。ただし、H25, 26は新幹線開業前のため、飯山線のみ的人数。

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

【検討の経緯】

・平成27年北陸新幹線飯山駅開業後、信越自然郷エリアへの来訪者増への指標として、飯山駅の利用者増が大きな目的の一つとなっている。また、信越自然郷の旅行消費額や滞在時間の延長を目的としたツアー商品の造成を行っており、参加者数も一つの指標とした。

【設定にあたっての考え方】

●飯山駅乗降客数

・平成27年の新幹線開業以降は、飯山線と新幹線の乗降客数の合算値。新幹線は平成27年の日平均を1,400人と想定し、平成30年には計画目標人数に到達するように設定（対前年比23%アップ）。飯山線は、平成26年が対前年比96.5%であった。平成27年以降は、観光列車おいこつとによる増と新幹線利用への減を考慮し対前年比96%で設定。

●飯山駅観光案内所利用者数

・日本人および外国人旅行者の観光案内所への来訪者数を利用。新幹線が開業した平成27年の実績を基に年2%アップで設定。必須KPI延べ宿泊者数に準じた。

●信越自然郷ツアー商品参加者数

・信越自然郷飯山駅観光案内所が主催するツアーへの参加者数を利用。新幹線の開業年である平成27年の実績を基に年17%アップで設定。核となる信州いいやま観光局が主催する着地型旅行商品の平成26年～28年までの参加者数の平均増加率17%に準じた。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入（円）	内訳
28年度	112,679,000円	【長野県からの補助金】 4,400,000円 【飯山市からの指定管理収入】 41,000,000円 【飯山市からの事業委託料】 11,380,000円 【広域観光連携事業委託料】 22,500,000円 【収益事業収入】 33,399,000円
29年度	113,386,000円	【長野県からの補助金】 4,400,000円 【飯山市からの指定管理収入】 41,000,000円 【飯山市からの事業委託料】 11,480,000円 【広域観光連携事業委託料】 22,500,000円 【収益事業収入】 34,006,000円

(別添) 様式 1

30年度	114,397,000円	【長野県からの補助金】 4,400,000円 【飯山市からの指定管理収入】 41,000,000円 【飯山市からの事業委託料】 11,580,000円 【広域観光連携事業委託料】 22,500,000円 【収益事業収入】 34,917,000円
31年度	115,408,000円	【長野県からの補助金】 4,400,000円 【飯山市からの指定管理収入】 41,000,000円 【飯山市からの事業委託料】 11,680,000円 【広域観光連携事業委託料】 22,500,000円 【収益事業収入】 35,828,000円

(2) 支出

年度	総支出	内訳
28年度	112,679,000円	【旅行商品事業】 5,600,000円 【ブランドづくり・情報発信事業】 17,900,000円 【その他(人材育成等)事業】 1,000,000円 【一般管理費】 88,179,000円
29年度	113,386,000円	【旅行商品事業】 5,600,000円 【ブランドづくり・情報発信事業】 17,900,000円 【その他(人材育成等)事業】 1,000,000円 【一般管理費】 88,886,000円
30年度	114,397,000円	【旅行商品事業】 5,600,000円 【ブランドづくり・情報発信事業】 17,900,000円 【その他(人材育成等)事業】 1,000,000円 【一般管理費】 89,897,000円
31年度	115,408,000円	【旅行商品事業】 5,600,000円 【ブランドづくり・情報発信事業】 17,900,000円 【その他(人材育成等)事業】 1,000,000円 【一般管理費】 90,908,000円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ① 着地型旅行商品の造成、販売促進
- ② 宿泊手配等手数料の増収
- ③ 信越自然郷飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンターでの商品販売、レンタル収入の増加
- ④ DMOの運営安定化のための県、エリア内市町村からの支援

8. 日本版 DMO 形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

長野県、中野市、妙高市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村は、一般社団法人信州いいやま観光局を中野市、妙高市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村における地域連携DMOとして登録したいので一般社団法人信州いいやま観光局とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	高野賢一
担当部署名 (役職)	飯山駅観光交流センター 副所長
所在地	長野県飯山市大字飯山 771-1
電話番号 (直通)	0269-62-7000
FAX 番号	0269-62-7003
E-mail	k.takano@iiyama-ouendan.net

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	長野県
担当者氏名	小野政仁
担当部署名 (役職)	観光部山岳高原観光課 (課長補佐兼係長)
所在地	長野県長野市大字南長野字幅下 692の2
電話番号	026-235-7251 (直通)
FAX 番号	026-235-7257
E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

都道府県・市町村名	長野県
担当者氏名	竹内 淳
担当部署名 (役職)	北信地域振興局商工観光課 (係長)
所在地	長野県中野市壁田 955
電話番号	0269-23-0219 (直通)
FAX 番号	0269-23-0256

(別添) 様式 1

E-mail	hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
--------	----------------------------------

都道府県・市町村名	中野市
担当者氏名	神田 幸一
担当部署名 (役職)	営業推進課 (観光交流係長)
所在地	長野県中野市三好町1-3-19
電話番号	0269-22-2111 (代表)
FAX 番号	0269-22-5924
E-mail	ei-sui@city.nakano.nagano.jp

都道府県・市町村名	妙高市
担当者氏名	霜鳥 睦夫
担当部署名 (役職)	観光商工課 (主査)
所在地	新潟県妙高市栄町5-1
電話番号	0255-74-0021 (直通)
FAX 番号	0255-73-8206
E-mail	mutsuo_shimotori@city.myoko.niigata.jp

都道府県・市町村名	山ノ内町
担当者氏名	堀米 貴秀
担当部署名 (役職)	観光商工課 (係長)
所在地	長野県山ノ内町平穩3352-1
電話番号	0269-33-1107 (直通)
FAX 番号	0269-33-1104
E-mail	kanko@town.yamanouchi.nagano.jp

都道府県・市町村名	信濃町
担当者氏名	松木 明彦
担当部署名 (役職)	産業観光課 (商工観光・癒しの森係長)
所在地	長野県信濃町柏原428
電話番号	0265-255-3114 (直通)
FAX 番号	026-255-4470
E-mail	syoukoukankou@town.shinanomachi.nagano.jp

都道府県・市町村名	飯綱町
担当者氏名	宮島 幸男
担当部署名 (役職)	産業観光課 (商工観光係長)
所在地	長野県飯綱町大字芋川160
電話番号	026-253-4765 (直通)
FAX 番号	026-253-6869
E-mail	kanko@town.iizuna.nagano.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	木島平村
担当者氏名	本山 等
担当部署名 (役職)	産業課 (商工観光係長)
所在地	長野県木島平村大字往郷973-1
電話番号	0269-82-3111 (代表)
FAX 番号	0269-82-4121
E-mail	shokan@vill.kijimadaira.lg.jp

都道府県・市町村名	野沢温泉村
担当者氏名	竹井 勝
担当部署名 (役職)	観光産業課 (商工観光係長)
所在地	長野県野沢温泉村大字豊郷9817
電話番号	0269-85-3114 (直通)
FAX 番号	0269-85-3803
E-mail	masaru@vill.nozawaonsen.nagano.jp

都道府県・市町村名	栄村
担当者氏名	島田 益夫
担当部署名 (役職)	商工観光課 (主査)
所在地	長野県栄村大字北信2903
電話番号	0269-87-3333 (直通)
FAX 番号	0269-87-2280
E-mail	kankou@vill.sakae.nagano.jp

都道府県・市町村名	飯山市
担当者氏名	高橋 英志
担当部署名 (役職)	広域観光推進室 (広域観光室長)
所在地	長野県飯山市大字飯山1110-1
電話番号	0269-62-3111 (代表)
FAX 番号	0269-62-6221
E-mail	takahashi.hideshi@city.iiyama.nagano.jp

信越9市町村広域連携会議 組織図

信越9市町村広域観光連携会議（63団体）

◇顧問

立教大学特任教授 清水 慎一
 長野県議会議員 服部 宏昭
 長野県議会議員 宮本 衡司
 長野県議会議員 小林 東一郎
 長野県議会議員 丸山 栄一

◇構成員

行政関係 飯山市 中野市 妙高市 山ノ内町 信濃町 飯綱町 木島平村 野沢温泉村 栄村
 北信広域連合 長野県 飯山市議会 中野市議会 妙高市議会 山ノ内町議会
 信濃町議会 飯綱町議会 木島平村議会 野沢温泉村議会 栄村議会

観光団体 信州・長野県観光協会 信州いいやま観光局 信州なかの観光協会 妙高市観光協会
 山ノ内町観光連盟 信州しなの町エコツーリズム観光協会 飯綱町観光協会
 木島平村観光協会 野沢温泉観光協会 栄村・秋山郷観光協会
 野沢温泉旅館ホテル事業協同組合

商工団体 長野県経営者協会 長野県中小企業団体中央会 長野県商工会議所連合会
 長野県商工会連合会 飯山商工会議所 信州中野商工会議所 山ノ内町商工会
 信濃町商工会 飯綱町商工会 木島平村商工会 野沢温泉商工会 栄村商工会
 みゆき野青年会議所 中野青年会議所 中高職業訓練校

農業関係団体 長野県農業協同組合中央会 北信州みゆき農業協同組合 中野市農業協同組合
 志賀高原農業協同組合

交通事業者 東日本旅客鉄道(株)長野支社 長野電鉄(株) 長電バス(株) アルピコ交通(株) しなの鉄道(株)
報道関係団体 信濃毎日新聞(株) 日本放送協会長野放送局 信越放送(株) (株)長野放送 (株)テレビ信州
 長野朝日放送(株) 北信濃新聞社 北信ローカル

◇役員会構成

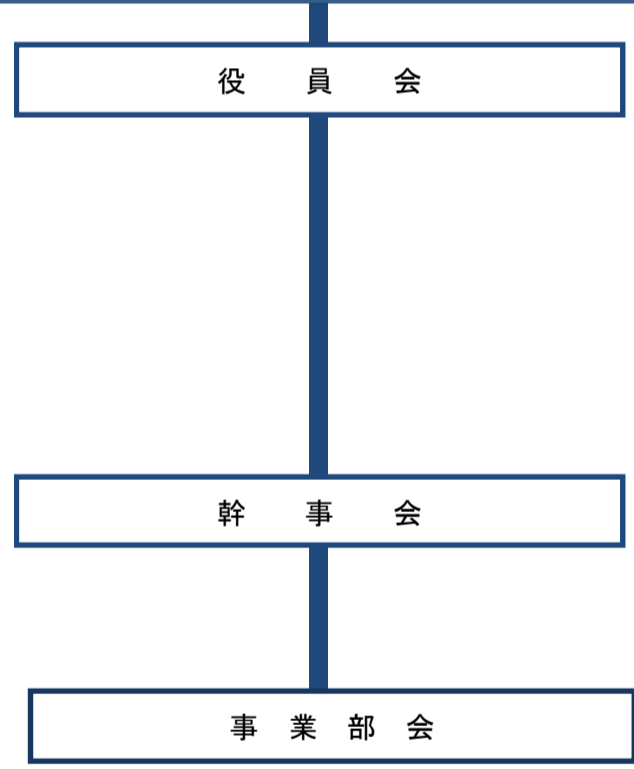
会長 飯山市長
 副会長 中野市長、妙高市長
 監事 山ノ内町長、信濃町長
 理事 飯綱町長、木島平村長
 野沢温泉村長 栄村長
 長野県北信地方事務所長

◇幹事会構成

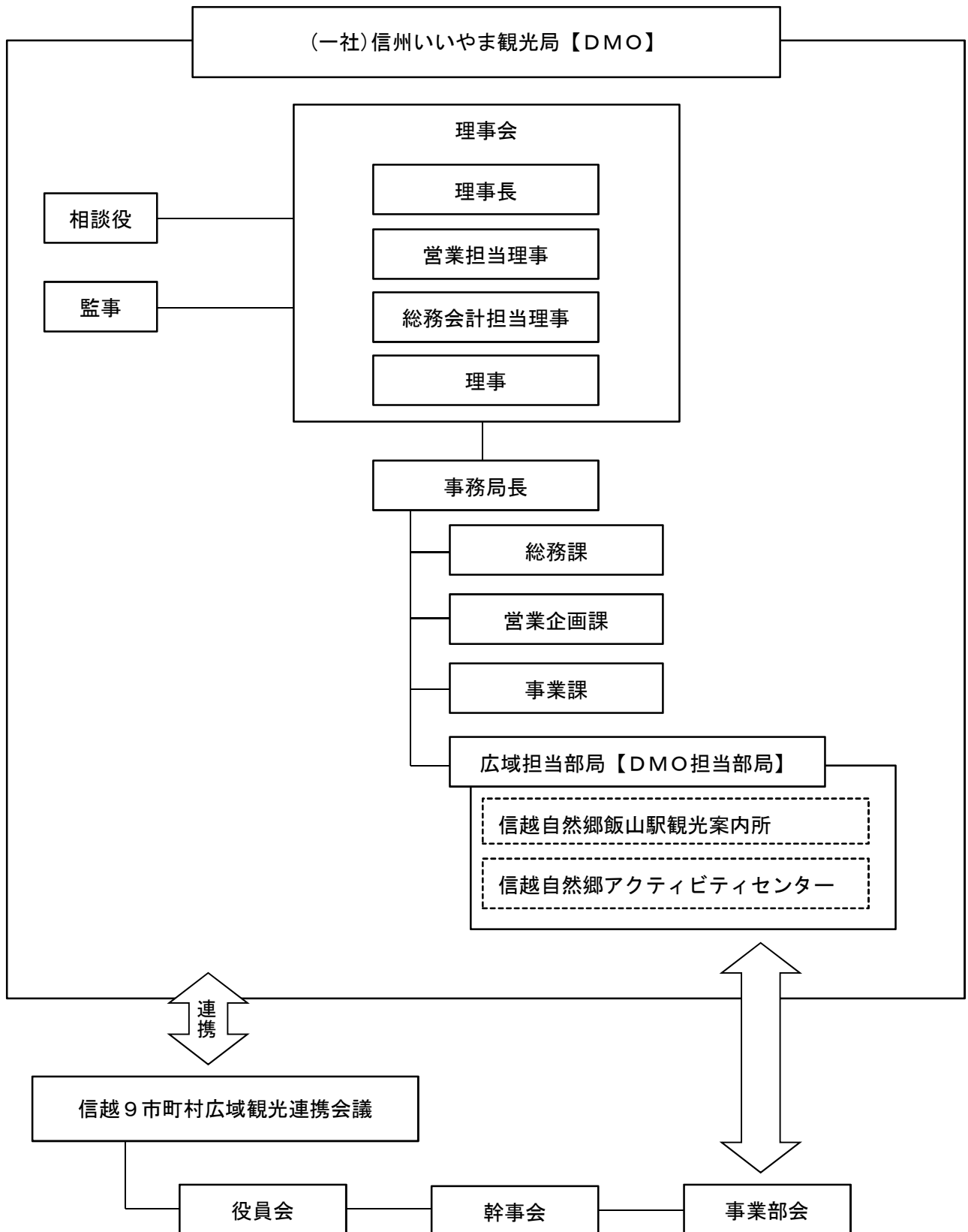
幹事長 飯山市経済部長
 幹事 構成市町村観光担当課長

◇事業部会構成

構成市町村行政、観光団体、商工団体、
 農業団体、交通事業者実務担当者



実施体制図



【区域】長野県中野市、飯山市、山ノ内町、信濃町
飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村
新潟県妙高市

【設立時期】平成22年4月1日

【代表者】

【マーケティング責任者】 大西宏志

【職員数】 100人 うち担当部局14人

【連携する主な事業者】

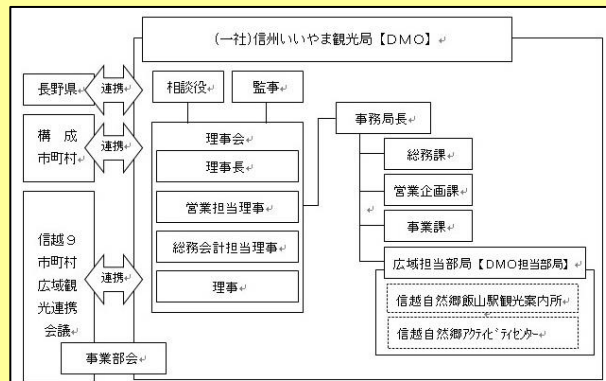
長野県

信越9市町村広域観光連携会議構成市町村

信越9市町村広域観光連携会議会員行政、観光、

商工、農業関係団体、交通事業者、報道関係

(表：実施体制)



(表：KPI(実績・目標))

単位	26年	27年	28年	29年	30年	
旅行消費額	億円	443	486	489	470	479
延べ宿泊者数	万人	568	593	577	602	614
来訪者満足度	%	---	---	92	93.5	95
リピーター率	%	---	---	68.8	70	70

アウトドアアクティビティに関する取組

信越自然郷エリアのアウトドアアクティビティの案内や情報発信を、新幹線飯山駅高架下し設置した信越自然郷アクティビティセンターにおいてワンストップで行う。

アクティビティセンターでは関係事業者と連携した体験プランや旅行商品造成を行う。

信越自然郷アクティビティセンターの登録事業者のデータベース化、ネットワーク化を進め、来訪者にストレスのないアウトドアアクティビティを楽しんで体験いただく環境を整える。

また、アウトドアメーカーとの連携を図り、アウトドアメーカーの持つノウハウや発信力を活用した戦略的なプロモーションを実施する。



インバウンドに関する取組

信越自然郷エリアのもつ自然風土、文化は、豪雪など厳しい自然との共生の中で生まれたものであり、日本の原風景を感じさせる、古来の里山生活文化であり、歴史的に受け継いできたものである。この地域の魅力や観光資源等情報発信の強化を図る。

また、Wifi環境やホスピタリティの向上など外国人観光客の受入体制の整備も急務であり、施設や事業者において、行政や信越9市町村連携会議と連携し、ソフト・ハードそれぞれの整備を進める。

NAGANOモビリティに関する取組

アウトドアアクティビティとともに信越自然郷エリアが提供すべき価値として掲げる、このエリアの自然風土、文化から生まれた「食」、「リラクゼーション」。この価値を来訪者が、ハイキング、トレイル、サイクリング、カヌー等のアクティビティを楽しみながら、目的地間を移動し、移動行動自体を楽しむ旅行スタイル(NAGANOモビリティ)の中で体験できるプログラムづくり、旅行商品化を、それぞれの価値を提供できる事業者と連携しながら進める。